

平成23年度

防犯設備士

養成講習・資格認定試験

総合防犯設備士

受験セミナー・資格認定試験

【 ご 案 内 】



社団法人日本防犯設備協会

防犯設備士

《 防犯設備士になるためには 》

防犯設備士とは、(社)日本防犯設備協会が行う防犯設備士資格認定試験に合格し、申請により防犯設備士資格者証の交付を受け、協会の防犯設備士登録簿に登録された方をいいます。

1. 防犯設備士養成講習及び防犯設備士資格認定試験

(1) 日程

・防犯設備士養成講習	第1日目	9:00～18:00
	第2日目	9:00～12:40
・防犯設備士資格認定試験	第2日目	13:40～17:00

(2) 場所 東京・大阪・名古屋など

(3) 実施 年4回

2. 防犯設備士資格認定試験の受験資格

防犯設備士養成講習を修了した方は受験できます。

(注)協会の定めた下記の不適合条項に該当する方は受験できません。

- ①禁錮以上の刑に処せられ、その執行を受けることがなくなってから、3年を経過しない方
- ②成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ない方
- ③指定暴力団に指定された暴力団の構成員
- ④精神病患者又はアルコール、麻薬、大麻、あへん若しくは覚せい剤等の中毒者

3. 養成講習・資格認定試験のタイムスケジュール

[1日目]

9:00～9:10	協会挨拶・連絡事項
9:10～12:00	・防犯の基礎知識
	☆警察によるご講演
12:00～13:00	昼食
13:00～18:00	・防犯設備の構造及び機能に関する知識
	・防犯設備の設計に関する知識

[2日目]

9:00～10:00	・電気の基礎知識
10:10～12:40	・防犯設備の施工及び保守管理に関する知識
	・関係法令及び内線規定についての知識
	・防犯設備の名称・用途
12:40～13:40	昼食
13:40～15:10	資格認定試験
	◇知識試験 (70分)
15:10～15:30	休憩
15:30～17:00	◇技能試験 (80分)

講習：10時間00分
講演：30分
試験：2時間30分

*都合により内容について、一部変更する場合があります。

4. 防犯設備士資格認定試験の科目と合格基準

(1) 試験は次のとおり2区分、8科目とします。

区 分	科 目 及 び 内 容	時 間
知 識	① 防犯の基礎知識(防犯機器に関する電気知識を含む) ② 防犯建物部品の基礎知識 ③ 防犯設備の構造及び機能に関する知識	70分
技 能	① 防犯設備設計の技能 ② 防犯設備及び工事材料の名称、用途等の識別 ③ 防犯設備の施工・維持管理 ④ 防犯設備の保守方法 ⑤ 関係法令	80分

(2) 合格基準は、上記区分(知識、技能)毎に、正解率60%以上です。

5. 受験、受講の申し込み

下記の(1)および(2)のいずれかの方法でお申し込み下さい。

(1) 「日本防犯設備協会」のホームページから申し込む。

- ① ホームページの「TOPICS」の「防犯設備士養成講習・資格認定試験の申し込み」または、「防犯設備士について」の「防犯設備士養成講習の申込み」を選択し、「スケジュール」画面の『インターネットでのお申込はこちら』にアクセスし表示される画面に必要事項をインプットしインターネットで申し込む。
- ② 上記スケジュール画面の末尾にある「FAXでのお申込はこちら」の欄でFAX用紙をダウンロードして必要事項を記入してFAXで申し込む。

(2) 当協会に申し込み用紙を請求し、必要事項を記入しFAXで申し込む。

(注) 申し込み多数の場合は抽選になります。当選された方には、受講・受験申請書をお送りいたします。抽選にはずれた方には、別途お知らせ致します。

6. 受験、受講手数料

区 分	会 員	非会員
受 験 料	10,500円	10,500円
受 講 料	26,250円	31,500円
合 計	36,750円	42,000円

- ・受講料にはテキスト代を含みます。
- ・金額は消費税5%を含みます
- ・受講料は会員、非会員で異なります。
- ・合格後①資格者証(携帯用)5,250円(必須)
②資格者証書(掲示用)3,150円(希望)が別途必要になります。

注) 会員とは(社)日本防犯設備協会の会員登録された団体及び個人をいう。

注) 再受験(但し、2年以内で初回を含む3回迄)の時は、受験料(10,500円)のみで受講・受験できます。

(1) 受講・受験申請書受付について

- ・試験日、受講日のおよそ1か月前までとします。(その都度決定しご案内します)
- ・手続きはすべて郵送受付とします。(最終日の消印有効)

(2) 注意事項

受講・受験のために提出された書類ならびに手数料は、協会に責ある場合を除き一切お返しいたしません。

平成 23 年度 防犯設備士養成講習・資格認定試験の開催予定

平成 23 年度の防犯設備士養成講習と資格認定試験スケジュールをお知らせいたします。
皆様ご関係者の方々に情報発信をしていただければ助かります。

回次	開催日		開催地	会場名	募集期間
	講習	試験			
2011 年 第 74 回	6月10日(金)	6月11日(土)	東 京	家の光会館	3/7~4/7
東 京			浜離宮建設プラザ		
大 阪			天満研修センター		
岩 手			いわて県民情報交流センター		
第 75 回	9月9日(金)	9月10日(土)	東 京	飯田橋レインボービル	6/6~7/7
東 京			浜離宮建設プラザ		
大 阪			天満研修センター		
福 岡			天神ビル		
名古屋			ウインクあいち		
第 76 回	11月18日(金)	11月19日(土)	東 京	家の光会館	8/16~9/15
東 京			浜離宮建設プラザ		
大 阪			天満研修センター		
金 沢			いしかわ総合スポーツセンター		
高 松			トリートホール		
2012 年 第 77 回	2月24日(金)	2月25日(土)	東 京	家の光会館	11/21~ 2011・1/5
東 京			浜離宮建設プラザ		
大 阪			天満研修センター		
広 島			RCC文化センター		
名古屋			サンライフ名古屋		

(注) 会場については一部変更になる場合がありますので、直前の最終計画をご確認下さい。

◆ 問い合わせ、書類送付先 ◆

(社) 日本防犯設備協会認定試験事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-4 (第二長谷川ビル4F)
TEL 03-3431-7301 FAX 03-3431-7304

◆ インターネット・ホームページのご案内 ◆

協会では広報活動の一環として、インターネット・ホームページを開設しています。
防犯設備士情報や広報物などの紹介など情報の追加更新をしておりますのでご覧下さい。
URL : <http://www.ssaj.or.jp>

総合防犯設備士

《 総合防犯設備士になるためには 》

総合防犯設備士は、防犯設備士の上位資格です。

総合防犯設備士は防犯設備士としての実務実績を有し、且つ「防犯設備の審査および監査」が出来る人材です。

総合防犯設備士資格認定試験（以下「総合試験」という）には、一次試験と二次試験（面接試験）があります。また、一次試験はA(筆記試験)とB(講習認定)に区分され選択できます。但し受験資格が異なります。

二次試験は、一次試験A・Bいずれかに合格した方のみ受験できます。

一次試験の区分	一次試験受験資格	二次試験受験資格
A (筆記試験)	・防犯設備士資格取得後3年以上	・一次試験A・Bいずれかの合格者
B (講習認定)	・防犯設備士資格取得後6年以上 ・関係機関からの表彰者 ・実務実績の審査合格者	

(注) 今年度は、都合により一次試験B(講習認定)を中止します。

I 総合試験『一次試験A(筆記試験)および二次試験について』

1) 受験資格……防犯設備士資格取得後3年以上の実務経験を有する者。

2) 試験日程、会場及び試験内容

- 1 日程 一次試験……10月 8日(土)：東京会場・大阪会場
二次試験……12月 3日(土)：大阪会場
12月10日(土)：東京会場
- 2 会場 大阪(天満研修センター) 東京(飯田橋レインボービル)
- 3 一次試験の内容(解答は記述方式)

区 分	科 目	出題数	点 数	時 間	
A基礎(必須)	・セキュリティ概論 ・防犯設備の監査	・防犯設備の構築 ・関連知識	10問	200点	90分
B専門(必須)	・セキュリティ概論 ・防犯設備の監査	・防犯設備の構築	3問	300点	150分
C専門(選択)	・機器関連 ・警備関連	・施工関連 ・設計関連	4問中 2問選択	200点	60分

4 一次試験の合格規準

・合格点=500点(700点満点)・A~C各問題60%以上の正答

5 二次試験の内容(面接口頭方式・時間30分/1人)

・一次試験の理解度・実務実績・倫理観・資格取得後の活動 等

6 募集期間 7月1日(金)~9月15日(木)

7 募集要領 下記の(1)または(2)の何れかの方法で申し込む。

(1)「日本防犯設備協会」のホームページから申し込む。

① ホームページの「TOPICS」の「第11回総合防犯設備士資格認定試験の申し込み受け付中」を選択し、「スケジュール」画面の『インターネットでのお申込はこちら』にアクセスし表示される画面に必要事項をインプットしインターネットで申し込む。

② 上記スケジュール画面の末尾にある「FAXでのお申込はこちら」の欄でFAX用紙をダウンロードして必要事項を記入してFAXで申し込む。

8 受験申請手続きに必要なもの

- (1) 受験料……10,500円（金額には、消費税5%を含みます。）
 - ・合格後に①資格者証（携帯用・必須）……5,250円
 - ②資格者証書（掲示用・希望者）……3,150円が別途必要になります。
- (2) 写真2枚（大きさ・縦3.0cm×横2.4cm）
 - ・申請用1枚と受験票用1枚
 - ・写真は、申請前6ヶ月以内に撮影されたもの。正面・上半身・脱帽
- (3) 資格認定試験受験申請書・資格認定試験受験票（協会より送付します）

3) 注意事項

提出された書類および受験料等は、当協会に責ある場合を除き一切お返しいたしません。

II 総合試験の受験準備について

1) 受験のための教材の購入

- ① 「総合防犯」（総合防犯設備士のためのガイド）5,700円（送料込み）
 - ② 受験のための副読本（例題と解説）1,500円（送料込み）
- ※協会のホームページから申し込んで下さい。

2) 総合受験セミナーの実施

- 1 日程 7月 9日(土) 大阪（天満研修センター）
7月16日(土) 東京（浜離宮建設プラザ）
- 2 セミナーの内容

テ ー マ	内 容	時 間
・セキュリティ概論	解説・演習	90分
・防犯設備の構築	解説・演習	90分
・防犯環境設計	解説・演習	90分
・防犯設備の監査	解説・演習	90分
・防犯関連知識	解説・演習	60分
・防犯対策の具体例	解説・演習	60分

*都合により内容について、一部変更する場合があります。

*セミナーには、「総合防犯」のテキストが必要です。事前に購入願います。

3 募集期間 4月1日(金)～6月30日(木)

4 募集要領 下記の(1)または(2)の何れかの方法で申し込む。

- (1) 「日本防犯設備協会」のホームページから申し込む。
 - ① ホームページの「TOPICS」の「23年度総合受験セミナーの申し込み受け付中」を選択し、「スケジュール」画面の『インターネットでのお申込はこちら』にアクセスし表示される画面に必要事項をインプットしインターネットで申し込む。
 - ② 上記スケジュール画面の末尾にある「FAXでのお申込はこちら」の欄でFAX用紙をダウンロードして必要事項を記入してFAXで申し込む。

5 セミナー受講申請に必要なもの

- (1) セミナー受講料……10,500円（金額には、消費税5%を含みます。）
- (2) 写真1枚（大きさ・縦3.0cm×横2.4cm）受講票用
 - ・写真は、申請前6ヶ月以内に撮影されたもの。正面・上半身・脱帽
- (3) セミナー受講票（協会より送付します）

3) 注意事項

提出された書類および受講料等は、当協会に責ある場合を除き一切お返しいたしません。

社団法人 日本防犯設備協会ご案内

- 名 称 社団法人 日 本 防 犯 設 備 協 会
(Japan Security Systems Association)
- 目 的 防犯機器及び防犯システム並びに情報セキュリティシステム（以下「防犯設備等」という）に関する調査・研究及び防犯設備等に携わる者に対する研修その他の事業を行うことを通じて、防犯設備等に対する国民の理解を深めるとともに、安全で信頼できる防犯設備等の普及を図り、もって犯罪の防止その他公共の安全と秩序の維持に貢献し、国民生活の安全に資することを目的とする。
- 事 業
1. 防犯設備等に関する調査・研究
 2. 防犯設備等の設置方法等に関する調査・研究
 3. 1及び2に掲げる調査・研究の成果の普及
 4. 防犯設備等の性能等に関する試験、検定及びその結果の証明
 5. 防犯設備等の設置等に携わる者の技能等の検定
 6. 防犯設備等の設置等に携わる者に対する研修
 7. 防犯設備等の広報その他防犯設備等の普及の促進
 8. 防犯設備等に関する書籍等の出版
 9. 関係官庁及び関係団体等との連絡及び調整
 10. その他、協会の目的を達成するため必要な事業
- 会員数 [正会員 92社] [準会員 174社] [賛助会員 8団体]
[特別会員 25団体]
- 入 会 入会は「入会申込書」「会社等概要」及び正会員の「入会推薦状」を協会事務局に提出ください。理事会の審議・承認の上入会できます。
入会金及び会費以下のとおりです。

会 員	入会金	会 費	
正 会 員	20 万円	A 下記のいずれかに該当する法人、個人 ・ 資本金 10 億円以上 ・ 上場会社 ・ 正副会長、常任理事	月額 5 万円
		B A以外の下記いずれかに該当する法人、個人 ・ 資本金 1 千万円を超え 10 億円未満 ・ 理事、監事	月額 3 万円
		C A、B以外の法人、個人	月額 1.5 万円
準 会 員	2 万円	月額 5 千円	
特別会員	1 千円	年額 3 万円	
賛助会員	無し	1 口 年額 10 万円	

(平成 23 年 1 月末現在)